

- 1 自ら学び自ら考える生徒
- 2 認め合い協力する生徒
- 3 明るくたくましい生徒

燃える闘魂の輝く一条

令和5年を振り返って ～生徒も親も教職員も輝いた一年～

忙しさにかまけて、久しぶりの学校だより発行となってしまいました。申し訳ありません。この間、学校の様子は学校ホームページの日々の記録やさくら連絡網でお届けしてきましたが、今回は一条中学校のこの一年を振り返ってみたいと思います。5月8日、コロナの感染症法上の位置づけが5類になったことを受け、様々な活動がほぼ制限なく実施できました。私自身、一条中学校でこんな充実した時間を子ども達と過ごせたことに大きな喜びを感じています。季節はすでに師走。ご家庭でもこの一年を振り返りながらお子様の成長を確認し、新年の抱負について話し合ってみてください。

今年の本校のテーマは“夢 yume”

3年を超えるコロナ禍で、世の中は目先のことに目が向きがちになりました。これは子ども達も同様です。しかし、若い中学生には「ぜひ自分の将来や未来の社会に目を向け、語り合ってほしい」、そんな思いでこの一字を選びました。美術部の3年生と一緒に描いた黒板アート“yume”はPTA広報紙の表紙にも載せていただきました。



学年行事が目白押しの春 冒活・修学旅行・宮チャレ

今年は、1年生の冒険活動教室、2年生の宮っ子チャレンジウィーク、3年生の修学旅行が5月末から6月に集中して実施されました。各学年の実行委員会を中心に準備を進め、当日は天候にも恵まれ(?)て充実した体験を行うことができました。子どもたちの活動を支えてくださった保護者の皆様、子ども達のために汗を流してくれた教職員に心から感謝します。



祝！ 本校PTAが県の優良団体表彰を受けました

▶PTA広報紙もご覧ください



保護者の皆さんもPTA活動などで頑張ってくださいました。市P連ソフトボール大会での総合優勝をはじめ、県広報紙コンクール優秀賞、ベルマーク収集による玉入れの紅白玉購入、あいさつ運動や文化祭での立哨指導、子育てに関する研修や学年行事へのサポート等の様々な活動が外部からも評価され、本校PTAは県の「優良団体」表彰を受けました。保護者の皆様、おめでとうございます。

運動部が輝いた夏 関東に3チーム2個人、全国にも 新人地区は優勝旗3本

夏の総体では、3年生を中心にどの部も大活躍。全ての子どもたちの努力から生まれたのが、男子バスケットボール（県3位）、弓道部男子が団体で、陸上は渡邊栞里さん（走高跳県1位）、澤村日毬さん（100m県2位）が関東大会に出場。また渡邊さんは全国大会に出場して3位に入賞、国体にも出場しました。

秋の新人戦では、1・2年生が3年生の活躍を引き継ぎ、サッカー、男子バスケットボール、弓道男子が地区大会で優勝しました。この3年間で初めての女子バレーボールをはじめ、多くの団体・個人が県大会で活躍し、男子弓道が準優勝、陸上は中村友葵乃さん（走高跳）が2位を獲得しました。



文化部が輝いた秋 コンクール・作品展に、テレビ出演に

吹奏楽部は県吹奏楽コンクールで金賞を獲得し、東日本大会への代表選考会に出場。また、アンサンブルコンテストでも打楽器3重奏、金管3重奏が県コンクール出場を果たしました。合唱部は少人数ながら工夫してパフォーマンス力を向上させ、コンクールの外、とちぎテレビへの出演、文化祭での教職員との熱演、校内放送でも毎日美しいハーモニーを響かせてくれています。科学部では、グループ研究「小規模水力発電研究」が河内地区理科研究展覧会で堂々たる銀賞を獲得。美術部では、うつのみやジュニア芸術祭学校美術展デザインの部で吉川結梨さん青木ももさんが特賞を受賞したのをはじめ、各種コンクールで多くの作品が高い評価を得ました。黒板アートや文化祭の横断幕作成も頑張ってくれました。



多くのチャレンジが一条中学校生徒をパワーアップ



ユネスコスクール、JRC加盟校である一条中では、今年インドから14名の先生方をお招きし、ウェルカムイベントやインド式数学、ヨガ、ダンスなどの授業を体験しました。他にも下野新聞社による新聞塾、今年2回目となる魅力協主催の地域未来会議で地域の方



と地域の将来を議論するなど、様々なチャレンジができました。

令和6年も一層子ども達の成長のために努力してまいります。